

副市長に加瀬正彦さんが就任

平成29年旭市議会第1回定例会の閉会日となる3月17日、副市長を選任することについて市議会の同意が得られ、加瀬正彦さん(萩園)が副市長に就任しました。任期は4月1日から4年間です。

加瀬副市長は昭和54年4月に飯岡町職員として採用され、合併後は旭市職員として財政課長や行政改革推進課長、総務課長を歴任しました。



旭市津波避難訓練

災害時に慌てないために

津波避難対象地域などで3月5日、津波避難訓練が実施されました。午前9時から防災行政無線などで緊急地震速報や大津波警報が発表されると、身を守るための基本的な行動を取るシェイクアウト訓練をした参加者が、小学校や避難タワーなど24か所に避難しました。

津波避難場所となった小学校では、津波についての知識を深める映像の上映や消防隊員による応急処置、AEDの使い方の実技が行われました。



リヤカーを使って避難訓練をする参加者

拍手
はくしゅかっさい
喝采

第12回防火ポスター展最優秀作品表彰

各小中学校から寄せられた172点の作品の中から、最優秀作品(旭市長賞)に選ばれた戸村紀仁さん(古城小・4年)、木村憲人さん(三川小・5年)、飯田恵視さん(二中・1年)、遠藤叶音さん(一中・2年)に3月2日、賞状が贈られました。



左から戸村さん、木村さん、遠藤さん

3月15日 健康寿命を伸ばし 生き生きと

飯岡保健センター多目的ホールで健康講座が開催。千葉科学大学の田井中幸司教授が講師として、健康寿命獲得のために行う実際のトレーニングを紹介し、その有効性について話しました。正しい歩き方などを学んだ参加者は、「これからは気を付けて歩きたい」などと話していました。



健康づくりの運動について話す田井中教授

3月7日 笑いは健康のもと 落語で人生を楽しむ



落語を披露する桂竹千代さん

旭シニアカレッジ終了式と生涯学習講演会が、東総文化会館で開催。終了式では1年間活動してきた受講生47人に修了証が手渡され、1年間の活動をまとめたスライドが流されました。講演会では旭市観光大使の桂竹千代さんが落語を交えながら講演し、会場は笑いに包まれていました。

3月5日 子どもたちの 社会貢献活動を応援

市内小中学生が社会貢献活動を積極的に展開するため助成金を提供する、旭・学び助成金(旭3S)の活動報告会が東総教育会館で開催。今年10回目を迎えたこの活動には、市内11校の児童生徒が参加しました。この日は1年間の活動内容が発表され、積極的な意見交換も行われました。



来場者の質問に答える矢指小の児童



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています
旭市 Facebook

検索



あさひ 見聞録

けん ぶん らく

東日本大震災六周年 千葉県・旭市合同追悼式など

記憶を風化させることなく 後世に伝えていく



①

未曾有の大災害となった東日本大震災から6年。県と市の合同追悼式が3月11日、いいおかユートピアセンターで行われました。式には遺族をはじめとする関係者242人が参列し犠牲者の冥福を祈りました。参列者を代表して二中3年の大川晴也さんが、震災で感じた思いをつづった作文を朗読。「震災を後世に伝え、困っていたり、おびえていたりする人がいたら、支えてあげられるような人になりたい」と決意を語りました。

いいおか潮騒ホテルでは、市民団体による「3・11を継承する集い」が開催され、参加者は鎮魂の祈りをささげるとともに、市内での死者・行方不明者数と同じ16個の風船に祈願メッセージを書いて空に飛ばしました。

- ①一人一人が菊の花を手向ける(合同追悼式)
- ②メッセージを書いた風船を飛ばす(3・11を継承する集い)



②

3月4日 震災への思い文芸に 未来へ語り継ぐ



大賞に輝いた「6年1組仲間」の発表

東日本大震災を語り継ごうと創設された、旭いいおか文芸賞「海へ」の本審査が、東総文化会館で開かれました。この日は自由詩やエッセイなど1,681点の応募作品の中から、1次審査を通過した51点の発表が行われ、初の大賞には富浦小の「6年1組仲間」が選ばれました。

2月26日 飯岡に隠された 秘密の宝箱を探せ！

隠された宝箱に書かれたキーワードを集めると、抽選で賞品が当たるイベント、「リアル宝探し」が飯岡地域で開催されました。飯岡の名所などを周遊しながら、宝の地図に書かれた3つの謎を解き、隠された宝箱を見つけると、笑顔で駆け寄る子どもたちの姿がありました。



宝箱を発見する参加者

2月23日 大好きなまち！ 担い手が支える旭の農業



全国の先進事例を話す青山さん

旭市農業担い手躍進講演会が東総文化会館で開催され、市内の担い手農業者など143人が出席しました。講演では農業ジャーナリストの青山浩子さんが「日本の農業の未来は明るいか」と題し、これからの農業が持つ可能性などについて、全国の事例を交えながら話しました。